



身延山大学寮 行学寮

(入寮のご案内)



「身延山大学行学寮（僧道研修コース）」について

1. 目的

本学の建学の精神に則り、団体生活を通じて寮生相互の親睦を計ると共に、創造性と活力を備えた人格を育む事を目指す。

《僧道研修コースにおける目的》

日蓮大聖人が晩年9ヵ年をお過ごしになった聖地身延山において、給仕・修行・勉学の行学二道に精進し、僧侶として思いやりある振る舞いを身につけ法要所作を修得します。法華経の弘通に御命を懸けられた日蓮大聖人の御心を深く学び、お釈迦様のお説きになられた法華経に出会えたことに感謝しつつ、学生生活を送ることを目指しています。

2. 入寮資格

- (1) 身延山大学へ、入学を希望する男子学生
- (2) 2・3年次編入学生の入寮も可能
- (3) 原則として、日蓮宗の僧侶を目指す学生
- (4) 健康面で心配のない学生



3. 生活態度

- (1) 原則として、朝・夕勤は全員出仕とします。ただし、4年生につきましては、卒業論文作成期間（10月御会式以降）は、夕勤のみの出仕とします。また、前・後期試験の一週間程度前から試験終了までを試験集中期間とし、全員夕勤のみの出仕とします。
- (2) 外出は、寮日課を損なわない事を原則とします。休日の外出は寮監の許可を得て、21時迄とします。なお、外泊は『外泊許可願い』に、寮監の許可印を受けた場合のみ許可します。
- (3) 頭髪は丸刈りとし、月二回の散髪をします。（行事予定により変更の場合もあります）

4. 主な修得目標

入寮から卒寮に至るまでの修得目標

基本的な挨拶及び所作、掃除の仕方、仏具等の使用方法、法要での所作、法衣の着付け及びたたみ方、よく拝読される御妙判・方便品・自我偈・神力偈（別付属含む）・観音偈・開経偈・円頓章・頂経偈・七佛通戒偈・宝塔偈・四誓・運想・声明七曲・五番神呪・六番神呪・食法等の暗誦・総要品を無仮名本にて読誦・塔婆書

(1) 1年次

- ① 仏具の取扱い方及び掃除の仕方。仏飯の上げ方。開経偈・自我偈・神力偈の転読による暗誦。法衣（袈裟・本衣・居士衣・改良服・白衣・袴・行脚格好等）の着付けとたたみ方
- ② 書道（御題目の書き方）
- ③ 大太鼓・団扇太鼓の叩き方（宗定太鼓・信者太鼓）
- ④ 鏡鉞の作法。声明七曲の修得
- ⑤ 総要品一々文々による指導
- ⑥ 声明句頭師金座作法

(2) 2年次

- ① 金座・木座諸役の所作
- ② 要品雨だれにて読誦
- ③ 夕勤時5分間法話

(3) 3年次

- ① 寮朝夕勤時の導師所作
- ② 要品中拍子にて読誦
- ③ 夕勤時10分間法話

(4) 4年次

- ① 寮朝夕勤時の導師所作
- ② 回向文の作成
- ③ 要品中拍子にて読誦
- ④ 寮内清掃の指導

5. 日 課

夏時間		冬時間	
時 間	内 容	時 間	内 容
5 : 3 0	起床	6 : 0 0	起床
6 : 0 0	朝勤	6 : 3 0	朝勤
6 : 4 5	朝食	7 : 1 5	朝食
7 : 1 5	清掃	8 : 1 5	清掃
8 : 4 5	登校	8 : 4 5	登校
1 2 : 0 0	昼食	1 2 : 0 0	昼食
1 7 : 0 5	下校	1 7 : 0 5	下校
1 7 : 3 0	夕勤	1 7 : 3 0	夕勤
1 8 : 3 0	夕食	1 8 : 3 0	夕食
1 9 : 0 0	夜勤 又は 研修	1 9 : 0 0	夜勤 又は 研修
2 0 : 0 0	入浴	2 0 : 0 0	入浴
2 1 : 0 0	点呼・消灯	2 1 : 0 0	点呼・消灯

※研修が無い場合は自由時間になります。

6. 年間行事予定

月	内 容
4月	入寮式・新入生オリエンテーション
5月・6月	施餓鬼法要・開闢会入山行列参加・新入生歓迎会
7月	静岡市安倍川祭慰霊行脚及び法要出仕
8月・9月	夏期休暇 1・2年生（8月上旬から9月下旬まで）
	3・4年生信行道場入場
10月	お会式万灯講参加
11月	水行開き
12月	冬期休暇（12月下旬から1月上旬まで）
1月	寒修行
2月	寮生旅行
	春期休暇 在寮生1～3年生（2月上旬から3月下旬まで）
3月	卒寮生報恩読誦会・卒寮式
本山朝勤（週3日出仕）・学校行事・入学式・卒業式・本山法難会等への出仕 月1度の茶話会（誕生日会）・激励会等	

7. 寮 費（年間）

内 訳	金 額	備 考
入寮費	60,000 円	初年度のみ一括納入
管理費	188,000 円	
食 費	350,000 円	1日3食
合 計	598,000 円	分割納入可



8. 入寮関係書類一覧

(1) 入寮願い (2) 身上書 (3) 健康診断書

※入寮許可は選考審査後行い、入寮許可者には必要な書類を送付します。

9. 在寮生からの言葉

寮長 4年 埼玉県出身 品川 敦紀
行学寮は大学の法器養成の寮です。寮生活を通じて僧侶として必要な法要所作や読経、そして心構えも学ぶことができます。厳しく規律正しい面もありますが、1年生から4年生まで一つにまとまって寮生活を送るので、団結力がありそしてアットホーム的な面もあります。入寮する前から4年間も本当に続くのかなと思ひ悩むより、寮生活を送らなければの本当の寮良さは分からないと思ひます。多くのすばらしい先輩がこの寮から旅立っています。私もこの寮生の一員となれたことに誇りを持っています。

4年生 (平成22年度3年次編入生)
愛知県出身 寺田 啓道
私は身延に来ると決めた時に、本山に入るか行学寮に入るか悩みましたが、父が行学寮出身であることと、編入でも入れるということで、行学寮に入ることに決めました。一年目は、編入ということで授業も多く、寮でも覚えることが多かったですが、いい緊張感がとても充実した時間が過ぎました。今年は、自由な時間がだいぶできましたので、残りの寮生活を悔いのないように行学二道に励んでいきたいと思ひます。

2年生 熊本県出身 黒木 一徳
私が行学寮で良いなと感じるところは、行学の二道に励みながら、普段なかなか出来ない宿坊や旅館などのお手伝いをさせて頂けるところです。また、お手伝いに行くとアルバイト代も頂けることも魅力の一つだと思います。行学寮には他にも良いところがたくさんあります。私は行学寮に来ることができ本当に良かったと思ひています。

1年生 広島県出身 根師 和也
入寮した日から全てが初めての体験の日々でした。先輩から僧侶として必要なことを教えて頂くのですが、私はメモ帳に書いて一つ一つ確実に覚えていきました。分からないことがあったら「先輩に聞いてメモを取って、そして何度も読み返す」この繰り返しを今でも続けています。先輩も何度も同じことを聞いても嫌な顔せず優しく教えてくれます。そして、私の一年間の目標は、「しっかり声を出すこと」「寮生活に慣れること」です。

10. 問い合わせ先

〒409-2597 山梨県南巨摩郡身延町身延 3567

身延山大学 行学寮担当係

TEL 0556-62-0107

FAX 0556-62-0727

